

令和5年度 立川市立立川第七中学校 授業改善推進プラン

| | |
|---------|---|
| 学校の教育目標 | ◎深く考え、すすんで学ぶ ○温かく思いやり、正しく行う ○たくましく鍛え、みずから創る |
|---------|---|

| 生徒に育成を目指す資質・能力 | 教科や学年全体に共通する取組 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「基本的な生活習慣」を身に付け、集団の一員としての規律・規範意識を身に付ける。 ・「自ら考え進んで学ぶ」意欲と、生きる力の基盤となる「確かな学力」を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の達成感や成就感を大切にし、指導方法の工夫と授業改善を図る。 ・学習指導要領の趣旨をふまえた、PDCAサイクルを推進する。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るために指導方法の工夫と授業改善を図る。 ・タブレット PC を計画的・効果的に活用し、生徒が主体的に学ぶ態度を育成する。 |

| 教科 | 教科で育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など） |
|----|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に必要な言語知識や国語についての正しい理解と適切に使える技能。 ○文章や他者の話の内容や意図を汲み取ろうとする主体的な態度。 ○様々な文章や他者の話の内容や意図を自らの考えと比較しながら読み取る思考力や判断力。 ○状況や場に応じた言葉で、工夫しながら書いたり話したりできる表現力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句、抽象的な概念を理解したり表現したりするために必要な語彙を確認する場面を設定し、辞書を活用し、語彙量を増やす。 ・課題に対して粘り強く自分で考える場を繰り返し設定する。 ・自分の考えを深めるために、ICT 機器を用いて、他者の考えと比較する交流の場を設定する。 ・様々な言語活動を設定し、深い学びを展開する。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ○日本の国土と歴史、現代社会の特徴と課題について理解するとともに、様々な資料を読み取る技能。 ○社会的な事象を多面的・多角的に考察し、自ら判断したことを表現する力。 ○社会的な事象について、主体的に学習しようとする態度。 | <ul style="list-style-type: none"> ・複数の事項を用いる課題に苦手意識をもつ生徒に対して机間指導等で個に応じた支援を行う。 ・見通しがもてるように課題を提示し、生徒自ら考える時間を設ける。 ・話し合い活動を設け、様々な視点から物事を見る経験を通して公民的資質を養う。 |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な計算能力。 ○問題解決などにおいて、粘り強く考え、その過程を振り返り、考察を深めたり、評価改善したりする態度。 ○数学的に推論し、筋道を立てて考える力。 ○数学的な表現を用いて自分の考えを書いたり、他者に伝えたりする力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから複数の事項を用いる課題に苦手意識をもつ生徒への指導法を教員間で共有し合い、研究する。 ・見通しと振り返りを重視し、生徒が自ら考える時間を設ける。 ・答えを導き出す過程を確認する。 ・生徒同士の教え合いの時間をつくり、解答の導き方を他者に伝える機会を設ける。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能。 ○観察実験などを行い、科学的に探究する力。 ○自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理科に親しみを感じるようにするために、身近な現象を多く取り上げる。 ・実験や話し合いなどの学習活動に、タブレット PC 等の ICT 機器を積極的に有効活用する。 ・話し合い活動を取り入れ、様々な考え方に触れ、新しい視点で物事を捉えられるようにする。 |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が楽しみながら、音楽表現をするための技能。 ○音楽のよさや美しさを味わって聴く力。 ○音楽活動を通して音楽を愛好する心情、音楽を親しんでいく態度及び豊かな情操。 | <ul style="list-style-type: none"> ・発声方法や楽器の奏法など、一人一人に寄り添った指導を行うことで成功体験を増やし、自己肯定感を高める授業を行う。 ・音楽の構造や時代背景などについて、調べ学習をし、鑑賞の効果を深める。 ・グループ活動を取り入れ、歌唱（合唱）や器楽合奏の表現能力を高めさせる。 |

| | | |
|------|--|--|
| 美術 | <ul style="list-style-type: none"> ○美術を愛好する心情、豊かな情操。 ○楽しめる表現活動につながる基礎知識と技能。 ○表現の多様性を理解し、それぞれのよさを楽しみ受容できる力。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士が作品を鑑賞し合い、それぞれの感性のよさや違いの面白さについて感じ取る機会を設ける。 ・授業ごとに基礎知識と技能の復習を行い、学力の定着を図る。 ・作品を時代背景とともに鑑賞し、作者の表したいことなどを考え、作品をより深い視点で鑑賞し豊かな情操を高める。 |
| 保健体育 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な技能及び健康・安全を理解する力。 ○運動や健康について課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力。 ○明るく豊かな生活を営む態度。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの学び合い活動を取り入れ、運動の特性への理解を図り、反復練習等を行えるようにする。 ・運動や健康について安全性や運動効率などを最適化するために、課題を設定し、問題解決的な学習を行う。 ・運動の本質的な楽しさを実感できる活動を多く取り入れ、学習意欲を高める工夫を行う。 |
| 技術家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ○生活と技術についての基礎的な理解及びそれらに係る技能。 ○生活や社会の中から課題を設定し、解決策の構想・実践から評価改善し、表現する力。 ○持続可能な社会の実現を目指し、生活を工夫する態度。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業手順の可視化と調べやまとめ等の学習活動に、タブレット PC 等の ICT 機器を積極的に有効活用する。 ・技術や生活の営みの安全性や経済性などを最適化するために、課題を設定し、問題解決的な学習を行う。 ・衣食住やものづくりに関する実践的・体験的な学習を行う。長期休業などを利用して家庭で実践するなど、生活に取り入れて技能を定着させる。 |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ○聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの技能。 ○事実や自分の考えなどを表現したり、伝え合ったりすることができる力。 ○主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に反復練習や小テスト等を取り入れ、授業内で学習事項の内容を定着させる時間を確保する。 ・英語で意見や考えを述べることや、正確に英語の文章を書く活動を取り入れる。 ・生徒同士や ALT の先生との会話活動を通して、楽しみながら学び、既習事項を定着させる。 |